

帯広まちなか歩行者天国 ～市民がつくり・市民が楽しみ・ 市民が支えるオビヒロホコテン～



北海道 帯広市

帯広まちなか歩行者天国実行委員会



1 社会資本の概要

北海道十勝の中心都市である帯広市は、豊かな自然環境と快適な都市機能が共生する「田園都市」です。その中心市街地には、JR 帯広駅やバスターミナルといった交通拠点、百貨店をはじめ各種専門店や飲食店が集積した商店街、公共施設、事業所、官公庁など様々な都市機能が集積しています。特に平原通（道

道 26 号）とアーケードのある広小路（市道）が交差する通りは街の中心の象徴的なエリアです。

実行委員会では、この一帯約 420 m の道路空間を活用し、6 月から 9 月までの毎週日曜日に歩行者天国（オビヒロホコテン）を開催しています。



平原通（道道 26 号）



アーケード（広小路）

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

帯広市では、市街地が拡大した一方、中心市街地は空洞化・衰退化が急速に進んできました。

こうした状況に危機感を持った市民有志が、中心市街地に賑わいを取り戻そうと「帯広まちなか歩行者天国実行委員会」を設立し平成 18 年にオビヒロホコテンがスタートしました。

開催から 14 年目の現在でもボランティア主体で運営しており、低予算での継続的な活動を可能にし

ています。

また、イベントに参加するグループを年齢・立場を問わず市民から応募することで多様なコンテンツが集まり、世代を問わず楽しめます。

さらに、団体や学校を除き、個店での飲食出店を行わないことで、来場者が周辺飲食店へ回遊することを狙っています。



市民から集まる多様なコンテンツ



来場者が自由に参加できるイベントも



ボランティアや参加者が協力しながら設営・撤収

3 活動の成果や波及効果等

現在、オビヒロホコテンは、中心市街地で夏の間毎週行われるイベントとして市民の皆さんに広く親しまれています。

シーズン合計のべ 200 以上の参加グループ、のべ約 400 名の運営ボランティアが参加し、10 万人以上が来場するようになりました。

開催日の歩行者通行量は開催以前に比べて 1.5 倍から 3 倍にまで回復し、近隣店舗の売上増など地域の経済効果にも寄与しています。また、これまでまちなかを訪れることの少なかった若い世代もこのイベントをきっかけに足を運ぶことで、中心市街地における賑わいの創出と地域活性化に寄与しています。



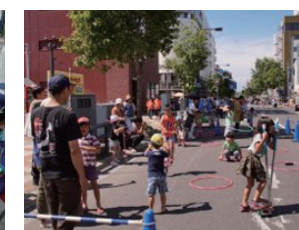
幅広い年代が参加・来場



高校の学校祭イベント



参加者と来場者の交流



家族連れも多く訪れる

所在地

北海道帯広市西 1 条南 8 丁目 20

活動主体及び連絡先

帯広まちなか歩行者天国実行委員会（0155-23-4510）

対象となる社会資本

北海道道 26 号帯広停車場線 南 8 丁目・南 9 丁目
／帯広市道南 8 丁目線 西 2 条・西 1 条の一部

※管理者：北海道 十勝総合振興局 建設管理部／帯広市 都市建設部



喜びの声



受賞者

函帯広まちなか歩行者天国実行委員会
実行委員長 細川 吉博

コメント

この度の受賞、心から感謝申し上げます。14 年の実績をご評価頂いたと思いますが、ここには多くのメンバーの知恵と労を惜しまない行動力がありません。そして何より、市民を始め多くの方々のご参加があってこそだと理解しています。改めて皆様へ感謝申し上げます。

当初有志によって始められたイベントが今や夏の一大イベントに発展しました。これからも末永く当事業が市民の手づくりにて続きますように肝に命じて参ります。ご支援の程宜しくお願い致します。

活動の内容

歩行者天国の企画～開催～運営

活動の経緯

平成 18 年
まちなか歩行者天国大作戦
プロジェクト開催
平成 18 年 帯広まちなか歩行者天国実行委員会
（活動開始）第 1 回歩行者天国開催
以後、毎年活動を継続中